

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年4月30日 第5号

▲▲1：「春山の遭難に注意を！」 遭対部は緊急アピールを準備中

4月になっても、労山会員の死亡事故が発生しています。4月9日には、6日に御岳山(3067m)頂上の剣ヶ峰に向かい、行方不明になっていた静岡県の男性(52歳)が遺体となって見つかりました。全国連盟遭対部(臼井邦徳部長)は相次ぐ遭難死亡事故に対して緊急アピールを出す予定です。

今年になってからの労山会員・死亡事故は、2月23日に兵庫県・氷ノ山で男性1名(67歳)、3月11日には鳥取県・大山で3名(男性67歳・65歳、女性53歳)が遺体で発見され、この他に1月4日夜には山スキーに行っていた56歳の男性が、宿泊先である北海道・ニセコ連峰の個人所有山荘浴室で倒れて、亡くなった事故がありました。これも含めて、今回の事故で労山会員の死亡は今年になって6人にのぼり、2009年の19人に次ぐハイペースで推移しています。これから5月の春山シーズンを迎え、相次ぐ死亡事故に対して警鐘が鳴らされています。

日本山岳レスキュー協議会(日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳会などで構成)が2013年6月に発表した「第10回山岳遭難事故調査報告書(青山千影顧問)」によれば、労山は他団体と比較しても会員数に占める死亡率の割合が高いという結果になっています。(JWAF/活動紹介/各専門部活動紹介HP参照)

年	労山死亡者数	死者1人当たりの会員数	日山協死亡者数	死者1人当たりの会員数
2009年	19名	1,074人	12名	4,068人
2010年	8名	2,555人	13名	3,950人
2011年	8名	2,553人	10名	5,154人
2012年	10名	2,042人	8名	6,742人
2013年	14名	1,459人	—	—

(注) 労山のデータには病気等による死亡も含まれる

長野県警によると昨年はゴールデンウィーク期間中に遭難が多発し、長野県内だけで死者・行方不明者10人を含む34人が遭難しました。例年、雪上を歩行中、スリップして滑落する遭難が多発しています。「急斜面の雪上を歩行する場合は、アイゼンやピッケルを活用し、経験や技術に見合ったコースを選定し、無理のない行動に心がけましょう」と県警は呼びかけています。

▲△2：全国「遭難対策担当者会議」の参加者を募集中

労山全国連盟は、登山中の事故をなんとかしてでも減らそうと、7月5日(土)～6日(日)に全国連盟事務所で「全国遭難対策担当者会議」を開催します。参加対象は地方連盟遭難対策担当者、またはそれに準ずる役員で、各地方連盟1名については交通費を全国連盟が負担します。実施要項は4月9日に各地方連盟の理事長(又は事務局長)宛に送付しました。会議室が狭いため、参加人数は限られますが、全地方連盟が代表を送っていただくようお願いいたします。

▲△3：6月のクリーンハイクアピールを発表

全国連盟自然保護委員会(浦添・全国連盟理事長が委員長代行)は、4月15日に以下のような「2014年クリーンハイクアピール」を発表しました(JWAF/活動紹介/各専門部活動紹介HP参照)。

★ ★ ★

日本勤労者山岳連盟は、「豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産」であることから、「これを守り育てていくことは登山者の重要な責務」(日本勤労者山岳連盟趣意書)として、6月の第1日曜日(東北、北海道は7月)を清掃登山・クリーンハイクの日として、全国で取り組んでいます。

今年で41年目を迎えますが、去年は、33都道府県の地方組織で593の山岳会・山の会・クラブが443のコースで清掃登山・クリーンハイクに取り組みました。この行動には、一般参加の方々も含め10,176名が参加しました。そして回収されたゴミは11.79トンでした。

山からゴミをなくすことは、私たち登山者のモラルの問題であると考えています。日本勤労者山岳連盟は、8年前(2007年2月)「労山自然保護憲章」を制定し、山を汚さず山からゴミを一掃し、山に負担をかけない登り方を心がけ、壊れた登山道の整備、山や自然の変化を定期的に調査するなど山岳環境を守るための活動も行っています。

いつまでも楽しい山歩きができるように、登山者・ハイカーのみなさんにも下記のようなご協力を呼びかけます。(以下 略)

★ ★ ★

※なお、全国連盟ホームページには、エクセルでの集計用紙も掲載しておりますので、ダウンロードして各地方連盟の取り組み結果の報告をお願いします。

▲▲4：「8000メートルの6座へ」好評発売中

8000m峰六座目の登頂をめざしていた河野千鶴子さん（当時66歳、全国連盟および東京都連盟理事、「練馬山の会」会長）が、ダウラギリ峰の頂上アタック途上で遭難されてから、まもなく満1年を迎えます。このほど、河野さんが山で残した記録をまとめた「8000メートルの6座へ」が桐書房から刊行されました。

河野さんは50歳で「練馬山の会」に入会して山登りを始め、62歳で世界7大陸最高峰を極め、さらに次々とヒマラヤ8000m峰（チョオユー、エベレスト、シシヤパンマ、マナスル、ガッシャーブルムI）へのチャレンジを次々と成功させてきましたが、その足跡はあまり知られていません。ぜひ本書で、その歩みと故人の山にかけた思いをたどってください。

まとめて注文すれば割引となります。ご注文は直接、桐書房へ。詳しくは添付のチラシをごらんください。

▲▲5：全国連盟のホームページ 月間1万人以上が訪問

労山全国連盟のホームページがどれくらい見られているのか、毎月の訪問者数を調べてみました。昨年、2013年は2012年と比較して、ほぼ2000人/月の増加があり、毎月1万人を超えるようになっていきます。2014年3月は、細則を変更した新特別基金の改定内容と、浦添・理事長の新任あいさつページへの閲覧者が多かったようです。

次号メールニュースでは、どこのページが一番見られているか、ご紹介します。

全国連盟ホームページ月間訪問者数

単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2013年	9,498	9,195	10,523	11,410	13,692	11,730
2014年	10,929	10,038	13,372			

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013年	11,452	10,720	10,758	11,839	11,417	11,617